

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,665	2.2	256	48.0	211	72.2	113	48.5
25年3月期第2四半期	2,608	△1.4	173	△2.1	123	△2.7	76	12.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 130百万円 (173.1%) 25年3月期第2四半期 47百万円 (△44.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.01	—
25年3月期第2四半期	8.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,818	2,590	36.4	263.76
25年3月期	6,830	2,483	34.9	253.08

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,482百万円 25年3月期 2,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,730	5.3	470	8.0	350	1.3	190	△14.8	20.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	10,000,000 株	25年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	588,812 株	25年3月期	588,428 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	9,411,380 株	25年3月期2Q	9,412,319 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は政府による経済政策への期待感と日銀の金融緩和の導入により、円安基調、株価回復傾向が継続しており、個人消費の持ち直しや設備投資意欲の改善など、景気回復への明るい兆しが見えてまいりました。しかしながら、円安による原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、新興国の経済成長鈍化などの景気下振れ要因もあり、国内外経済の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画の最終年度である2013年度を攻めの姿勢に転ずるための企業体質改善の総仕上げの年度とし、昨年度に引き続いて、経営スローガンを「グループ全員が自らの使命を果たし一丸となって強い組織をつくります」と定め、社員一人ひとりがそれぞれに課せられた使命・役割を着実に、確実に果たしていくことを徹底し、組織の力を強め、真の実力を持った企業グループ体制を築くことに取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比2.2%増の26億6千5百万円（前年同期26億8百万円）となり、利益面では、原価低減の推進や経費管理の徹底効果に加え、退職給付信託資産の運用益の発生もあって、営業利益で同48.0%増の2億5千6百万円（同1億7千3百万円）、経常利益で同72.2%増の2億1千1百万円（同1億2千3百万円）、四半期純利益で同48.5%増の1億1千3百万円（同7千6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

#### ①金属製品事業

国内売上は総じて堅調に推移しており、ハンドツール部門ではレンチ類や万力類などが拡販努力により増加し、ファスニング部門では、ファスニングツールが新型コードレスリベッターの好調な販売並びに新型エアリベッターのラインアップ追加により増加し、工業用ファスナーにおいても売上が回復しましたが、切削工具部門では不採算商品の取扱中止などにより売上が減少しました。海外売上は主力販売国である韓国や米州などにおいて回復基調となり、ハンドツール部門ではプライヤ類の減少がありましたが、圧着工具は拡販努力により増加し、ファスニング部門においてもファスニングツールが拡販努力並びに新型エアリベッターのラインアップ追加により増加しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比2.4%増の25億4千5百万円（前年同期24億8千6百万円）となりました。利益面では、営業利益が同67.5%増の1億9千9百万円（同1億1千9百万円）となりました。

#### ②レジャーその他事業

ゴルフ練習場への入場者数は前年同期に対し僅かながらも減少したことに加え、お客様一人当たりの売上高の低下傾向は継続しており、売上高は前年同期比1.9%減の1億2千万円（前年同期1億2千2百万円）となりましたが、営業利益は経費管理の徹底による設備維持費用の低減等により、同5.0%増の5千6百万円（同5千4百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は68億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千1百万円減少しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比7千8百万円増の42億3千万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金やたな卸資産が減少する一方で、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は同8千9百万円減の25億8千8百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価による増加がありましたものの、減価償却及び除却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比4千3百万円増の30億5百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同1億6千2百万円減の12億2千3百万円となりました。これは主に長期借入金及びリース債務の減少によるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比し1億6百万円増加し、25億9千万円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金及び投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億4千万円増加(前年同期1億1千1百万円の増加)し、11億9千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

法人税等の支払がありました。売上債権の減少や減価償却費の計上、税金等調整前四半期純利益の計上により、資金が2億8千9百万円増加(前年同期3億3千9百万円の増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得を主因に、資金が5千8百万円減少(前年同期4千1百万円の減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金の返済及びリース債務の返済並びに配当金の支払による支出を主因に資金が8千9百万円減少(前年同期1億8千5百万円の減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の当四半期における修正につきましては平成25年11月5日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,474,373	1,618,790
受取手形及び売掛金	1,167,305	1,129,484
商品及び製品	929,213	925,661
仕掛品	254,776	234,229
原材料及び貯蔵品	175,066	178,294
その他	155,669	148,461
貸倒引当金	△4,695	△4,708
流動資産合計	4,151,708	4,230,214
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	913,426	876,617
土地	738,508	738,508
その他（純額）	680,433	621,594
有形固定資産合計	2,332,368	2,236,720
無形固定資産	39,330	34,506
投資その他の資産	306,759	317,367
固定資産合計	2,678,458	2,588,593
資産合計	6,830,167	6,818,807
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	258,199	257,789
短期借入金	2,212,160	2,270,686
未払法人税等	105,557	89,655
その他	385,363	387,131
流動負債合計	2,961,281	3,005,261
固定負債		
長期借入金	1,042,829	948,366
退職給付引当金	47,112	38,718
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
その他	292,497	233,156
固定負債合計	1,385,559	1,223,360
負債合計	4,346,840	4,228,622
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,029,340	1,118,838
自己株式	△148,545	△148,604
株主資本合計	2,331,841	2,421,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,027	60,978
その他の包括利益累計額合計	50,027	60,978
少数株主持分	101,457	107,927
純資産合計	2,483,326	2,590,185
負債純資産合計	6,830,167	6,818,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,608,582	2,665,538
売上原価	1,685,801	1,710,615
売上総利益	922,780	954,922
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	242,465	234,651
その他	507,102	463,933
販売費及び一般管理費合計	749,567	698,585
営業利益	173,213	256,337
営業外収益		
受取利息	191	1,321
受取配当金	2,999	3,047
受取家賃	3,833	3,857
その他	3,479	4,056
営業外収益合計	10,504	12,281
営業外費用		
支払利息	36,180	29,297
売上割引	22,530	22,704
その他	1,972	4,755
営業外費用合計	60,682	56,757
経常利益	123,034	211,861
特別利益		
投資有価証券売却益	3,388	—
特別利益合計	3,388	—
特別損失		
固定資産除却損	392	10,277
特別損失合計	392	10,277
税金等調整前四半期純利益	126,030	201,583
法人税等	45,651	82,581
少数株主損益調整前四半期純利益	80,378	119,002
少数株主利益	4,286	5,975
四半期純利益	76,092	113,026

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80,378	119,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,617	11,444
その他の包括利益合計	△32,617	11,444
四半期包括利益	47,761	130,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,904	123,977
少数株主に係る四半期包括利益	3,857	6,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	126,030	201,583
減価償却費	120,859	109,650
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42	△81
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,596	△8,394
受取利息及び受取配当金	△3,190	△4,368
支払利息	36,180	29,297
固定資産除却損	392	10,277
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,388	—
売上債権の増減額 (△は増加)	110,388	37,820
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,187	20,870
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,950	12,559
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,336	△410
その他の負債の増減額 (△は減少)	28,822	10,453
小計	419,832	419,259
利息及び配当金の受取額	3,187	3,243
利息の支払額	△37,194	△32,031
法人税等の支払額	△56,656	△101,253
法人税等の還付額	10,356	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	339,524	289,217
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△276,600
定期預金の払戻による収入	—	276,600
有形固定資産の取得による支出	△47,698	△55,106
無形固定資産の取得による支出	—	△299
投資有価証券の取得による支出	△1,930	△1,967
投資有価証券の売却による収入	8,688	—
その他	△89	△1,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,630	△58,580
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	73,332	58,332
長期借入れによる収入	50,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△236,922	△644,269
リース債務の返済による支出	△48,527	△30,415
自己株式の取得による支出	△18	△59
配当金の支払額	△23,530	△23,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,666	△89,941
現金及び現金同等物に係る換算差額	△364	179
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	111,864	140,876
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,874	1,049,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,417,738	1,190,750

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,486,069	122,513	2,608,582	—	2,608,582	2,608,582
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,486,069	122,513	2,608,582	—	2,608,582	2,608,582
セグメント利益	119,201	54,012	173,213	—	173,213	173,213

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,545,333	120,205	2,665,538	—	2,665,538	2,665,538
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,545,333	120,205	2,665,538	—	2,665,538	2,665,538
セグメント利益	199,635	56,701	256,337	—	256,337	256,337

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。